

尺八  
三絃  
箏

# 古典の 真髓への 挑戦



平成29年

3月

12日(日) 和歌山県

13日(月) 広島県

15日(水) 長崎県

16日(木) 福岡県

17日(金) 山口県

20日(月) 山梨県

※日程詳細は、裏面をご覧ください。

石橋 作曲 芳沢金七・若村藤四郎  
(広島公演・福岡公演のみ「尾上の松」作者不詳)  
三絃/澤村祐司 箏/日吉章吾 尺八/田嶋謙一

打波の曲・古伝巢籠・虚空 海軍道進曲  
尺八/田嶋謙一

五段砧 作曲 光崎桜枝  
箏本手/日吉章吾 箏替手/澤村祐司

八重衣 作曲 石川勾当  
三絃/澤村祐司 箏/日吉章吾 尺八/田嶋謙一

■お問い合わせ先

澤村祐司 090-9013-1961 sawamura.taji@gmail.com

日吉章吾 050-3736-8778 info@hiyoshihogo.com

田嶋謙一 080-3002-7051 tajimakenichi5@gmail.com

# 古典の真髄への挑戦

日吉章吾 Hiyoshi Shogo

生田流争曲の手ほどきを三木千重子氏に受ける。金津千重子氏に生田流争曲及び三絃を師事。胡弓を高橋章秋氏に師事。2009年東京藝術大学音楽学部邦楽科争曲専攻を卒業。2011年同大学院修士課程争曲専攻を修了。2014年利根英法記念邦楽コンクール一般の部 最優秀賞。2018年第71回文化庁芸術祭新人賞受賞。千鶴の会、よいろの会、豊音会会友他多数。古典作品に古韻を深める一方、邦楽と世の分野との接点を見つめ、現代における古典のあり方、次代につながる邦楽とは何かを模索している。

澤村祐司 Sawamura Yuji

1981年3月1日東京都出身。生田流争 三絃を、宮城社大師範 金津千重子に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科を経て、同大学院修士課程修了。伝統的な古典曲(地唄)などの演奏をはじめ、作曲や編曲にも取り組んでいる。詩と音楽のコラボレーション集団「VOICE SPACE」代表。争曲「宮城会」「豊音会」「森の会」「よいろの会」「華七星」所属。第2回八幡橋校賞受賞。第19回くまもと全国邦楽コンクール優秀賞受賞。

田嶋謙一 Tahama Kenichi

12歳より尺八を始め、父である直置流尺八家 田嶋直士に師事。2006年東京藝術大学邦楽科尺八専攻を卒業。同大学邦楽科助手。2014年第69回文化庁芸術祭新人賞受賞。国内外で古典を中心とした数々のリサイタル・招待演奏を行う。様々なジャンルの音楽とコラボ。大学などの教育機関やイベントで尺八に関する特別講義、演奏会企画。舞台での音楽監督などの活動を行う。「田嶋謙一オルケストラ」主宰 NPO法人邦楽普及協会理事「和楽器オーケストラあいおい」/日本三曲協会会員

3月  
平成29年

- 12日(日) 和歌山県
- 13日(月) 広島県
- 15日(水) 長崎県
- 16日(木) 福岡県
- 17日(金) 山口県
- 20日(月) 山梨県

- ぼたん荘 いろり館 盛公演 13時30分開演(13時開場) 夜公演 18時30分開演(18時開場)  
〒646-4106 和歌山県吉屋川町月野 081-1 TEL.0735-22-0376 入場料 3000円
- 福山ものづくり交流館 スカイホール9階 スタジオA 18時開演(11時30分開場)  
〒720-0067 広島県福山市西町1-1-1 TEL.0844-923-1191 入場無料(ご評価払い)
- 護国寺 19時開演(18時30分開場)  
〒85-0802 長崎県長崎市南町 6229 TEL.0957-62-2411
- さくらテラス 19時開演(18時開場)  
〒82-0022 福岡県みやま市市蔵高町小川 15-1 TEL.0944-35-8139 入場料 5000円(座席、税込)
- 大島文化センター 大ホール 18時30分開演(18時開場)  
〒742-2106 大島郡周防大島町大平小松 138-1 TEL.0826-74-2300 ご評価払い公演
- 山梨県立図書館多目的ホール 14時開演(13時30分開場)  
〒402-0014 山梨県甲府市北コ2丁 8-1 TEL.055-215-1040 入場料 2000円

■お問い合わせ先  
澤村祐司 090-9012-3861  
sawamura.yuji@gmail.com  
日吉章吾 050-3736-8778  
info@hiyoshishogo.com  
田嶋謙一 080-3002-7053  
tajimakenichi55@gmail.com



彼らの奏でる美しい音色と古典の情緒  
を是非今、聞きたいらしてください！  
邦楽ジャーナル編集長  
田中隆文

「三曲」(争・三味線・尺八の合奏)の世界では、古典を理解し本格的に取り組む強い意志と若手屈指の実力をもって、澤村・日吉・田嶋の3人が現れました。彼らは間違いなく、未来の日本の音楽を背負って立つトップ奏者となるでしょう。

わたしは応援しています  
日本の伝統楽器は、今や様々な音楽ジャンルに進出し、活動は多岐にわたっています。その根底には数百年にわたって培われてきた「古典」があります。とても奥深く、洗練されたものです。しかし、邦楽愛好人口の減少と共にそのニーズが減り、若手奏者が古典に取り組むこと自体、難しい時代となってきました。そんななか、